

令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部都市計画課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
24-1	亀崎地区無電柱化等整備事業	B	地元協議会の協力を得る中で、電線管理者や地域住民との協議を重ね、電線共同溝の整備計画を策定することができた。今後は、地域住民の理解を得ながら、令和8年度の完了に向け、工事を進めていく必要がある。	現状維持	令和8年度中の工事完了を目指し、計画的に事業を進める。令和5年度は、電線管理者や地域住民との協議・調整を図り、工事を進めていく。
24-2	公共交通対策事業	B	地区路線Aごんくで、年少時のバス利用による将来的な習慣化に資するため、これまで有料だった小学生の運賃を無料化した。11月からは4か月間限定で市内8路線の運賃無料乗車キャンペーンを展開したことで、路線バスの認知度が向上し、初めてバスを利用する方も増え、利用者の裾野を拡大することができた。今後は本キャンペーンをきっかけに初めて利用された方等を、どのようにリピートするかが課題である。 有脇地区で8月から本格導入したおでかけタクシー制度は、電車、バスの利用が不便な地域の生活の足として、主に、買い物、通院を目的として、高齢者を中心に重宝されている。	拡充推進	既存路線については、利用を促進するため、主にインターネットを通じたバス情報の発信強化、地元バス会との協議による広報活動を推進する。 事業の拡大としては、横川地区における、おでかけタクシー制度を実証実験し、本格導入に向けた取り組みを進める。また、地区路線Bの中で、利用者数が伸び悩んでいる路線については、地元バス会を通じて改善案を協議し、路線の見直しを行う。 令和7年度の新半田病院開院に向けては、新たな交通手段の確保を図るため、交通事業者や常滑市などの各主体との協議を進める。
24-3	公園整備・改修事業	B	老朽化した施設の改修や新たな施設の整備により、利用者の利便性、快適性の向上を図ることができた。継続的に公園施設の点検を行いながら、老朽化した施設の計画的な整備改修を進める必要がある。	現状維持	職員によるパトロールのほか、遊具などについては、専門業者による点検により現況を把握し、適正な管理により、利用者の安全確保に努める。
課等長	1次評価（令和4年度の総括評価）				
B	<p>亀崎地区無電柱化等整備事業については、電線管理者や地域住民との協議を重ね、電線共同溝の整備計画を策定することができた。</p> <p>公共交通対策事業については、地区路線Aの小学生無料化や、国の臨時交付金を利用して、市内バス8路線の運賃無料キャンペーンを実施し、バス利用促進を図ることができた。また、交通空白地域となっていた有脇地区で、おでかけタクシーを本格導入することができた。</p> <p>宮本公園、成岩公園及び有脇ふれあい公園については、施設の整備・改修を行い、利用者の利便性、快適性の向上を図ることができた。また、雁宿公園については、周囲の景観に合った新たなシンボルとなる展望台に改修することができた。</p>				
部等長	2次評価（令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
B	<p>亀崎仲町通りの無電柱化については、令和4年度は、電線共同溝の整備計画を策定することができた。令和8年度の工事完了を目指し、引き続き、地元住民の理解を得ながら、着実に進めていくこと。</p> <p>公共交通については、バスの利用促進及び、一部交通空白地域の解消を図ることができた。引き続き既存路線の利用促進、交通空白地域の解消について、市民と協働しながら進めること。また、新半田病院開院に向けた、新たな交通手段の確保について、各関係機関と協議を進めること。</p> <p>公園施設長寿命化計画に基づき、公園利用者の利便性向上のため、適正に施設の更新を行うこと。</p>				